

電卓に必要な機能の要件

2014年5月から適用

電卓に必要な機能の要件（2014年5月から適用）

2014年5月より、DP「数学」（グループ5）の筆記試験で統計表を使用することは認められないことになりました。そのため国際バカロレア資格（IB資格）取得志願者は、電卓を使用して統計に関するさまざまな値を求めることができなければなりません。電卓の要件は科目によって異なりますが、数学の各科目では以下に列記した機能が最低限必要となります。ただし、この中には一部の科目でしか必要とされない機能も含まれます。

筆記試験の問題は、ここに記載されている機能を最低限備えたグラフ電卓を志願者全員が使用できるという前提で出題されます。そのため、使用するグラフ電卓がこれらの要件を満たしていない志願者は、不利な条件で試験を受けることになります。

最低限必要な機能

- ・ 任意の表示画面でグラフを描画する機能
- ・ 方程式を数値的に解く機能
- ・ 各点での微分係数を求める機能
- ・ 定積分の値を求める機能
- ・ 財務計算を行う機能
- ・ 行列の和と積を計算する機能、および逆行列を求める機能（「発展数学HL」のみ）
- ・ 以下のような統計に関する値を求める機能
 - － 正規分布に関する値
 - － 二項分布に関する値
 - － ポアソン分布に関する値
 - － t 分布に関する値
 - － 二項係数 $\binom{n}{r}$, nPr
 - － 1変数および2変数の統計量
 - － カイ2乗値 (p 値を含む)